

軟式野球競技実施要項

1 期日 令和7年6月7日(土)・8日(日)〈予備日6月14日(土)〉

2 会場 第1日目 東牟婁・西牟婁 2日目 東牟婁
A：くろしおスタジアム B：神島台グラウンド(海側)
C：新宮市民球場 D：神島台グラウンド(山側)

(予備：)

3 開・閉会式会場 開会式：行わない。
閉会式：くろしおスタジアム 競技終了後

4 日程

	9：00 選手集合
第1日(6月8日)	第1試合：9：30・第2試合：11：30・第3試合：13：30
	8：30 選手集合
第2日(6月9日)	第1試合：9：00・第2試合：11：00・第3試合：13：00

5 種別 小学生の部

6 参加資格

(1) 総則10に定める者(但し、軟式野球は1名以上のスポーツ少年団有資格者を指導者登録した者を必要とする。指導者とはチーム代表者、監督、コーチとする)

(2) 各地方を超えてのチーム登録は認めない。

*各地方とは、和歌山市、海草地方、那賀地方、伊都地方、有田地方、日高地方、西牟婁地方、東牟婁地方の8つの地方をいう。

7 出場チーム数 総則12に定める。(各地方2チームとする。)

8 チーム編成

チーム代表者1名、監督1名、コーチ2名、熱中症対策スタッフ2名及びスコアラー1名、選手(1年生から6年生)25名以内とする。

9 競技方法

(1) 試合時間は90分とする。従って、90分を超えて新しいイニングに入ることはない。

(2) 試合回数は6回とするが上記時間に達したときは、その回数とする。

(3) 上記時間において、6回を終了して同点の場合は8回までを限度に次の「特別延長戦」を行う。(但し、6回を終了し試合時間を超えていない場合のみ行う)

「特別延長戦」

継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者として、その前打者を2塁走者とし、無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返すこととする。(但し、2回を限度とする)

- (4) 試合時間に達しても、勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決する。
- (5) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」による。
- (6) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差の生じた場合とする。
(但し、決勝戦は除く)
- (7) 降雨、日没等により試合継続が困難となった場合、5回終了以降は正式試合とする。
- (8) 投手は、変化球を投げることを禁止する。投げた場合は、ペナルティ（ボール）を課す。
- (9) 抗議は、監督又は当事者が行う。
- (10) 本規則に定められていない事項が生じた場合は、審判員で協議のうえ、大会審判長の権限により処理する。
- (11) 同一チームの各プレイヤー（監督、コーチを含む）は、同色、同形、同衣装のユニホーム及び帽子、ストッキングを着用しなければならない。
(但し、チーム代表者及び合同チームの場合には和歌山県軟式野球連盟学童部規則及び県学童部大会特別規則に準じる。)
- (12) 捕手は、捕手用ヘルメットを着用すること。捕手用ヘルメットはマスクを分離したものとす。また、捕手はプロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。
- (13) 素振り用の鉄棒（鉄パイプを含む）、バットリングは使用してはならない。
- (14) 金属スパイクの使用を禁止する。
- (15) 競技者の背番号は、算用数字で0番から99番までとし、主将は10番に統一する。
- (16) 試合中のダッグアウト（ベンチ）の中に入れる人員は、チーム代表者・監督・コーチ2名・熱中症対策スタッフ2名及びスコアラー1名、選手25名以内とする。
- (17) 監督の背番号は30番に統一する。なお、コーチがベンチ入りする場合、背番号は28番と29番とすること。
- (18) 試合球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認J号球を使用する。
- (19) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
(4年生以下は60球以内とする)

10 その他

- (1) 本規則は、和歌山県学童部特別規則に準じて作成したものである。
なお、その他の規則については2025年度公認野球規則及び2025年度競技者必携「少年野球に関する事項」並びに、別に定める特別規則を適用する。
 - (2) 態度決定は、試合当日、午前6時の時点で決定する。
雨天中止の場合は、各チーム代表者に電話連絡する。
雨天中止の場合は、開会式は開催しない。
 - (3) お弁当の空箱・ゴミ・空き缶・空きビン・ペットボトル等は、各自で持ち帰ること。
 - (4) この大会の優勝チームは、令和7年6月22日（日）滋賀県・彦根市で開催される第47回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会近畿ブロック代表決戦に出場できる。（近畿ブロックからの全国大会出場は、8チーム中2チーム）
なお、2位・3位のチームは、令和7年6月22日（日）滋賀県・彦根市で開催される第38回近畿ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会に出場することができる。
第47回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会近畿ブロック代表決定戦に出場するチームの参加選手は25名とする。（但し、各近畿ブロック大会要項及び大会規則に準じる。）
- ※①大会における優勝チームは、近畿大会の全国大会代表決定戦に出場すること。
②大会における2位・3位のチームは、近畿大会の交流大会に出場すること。

上記①及び②の権利を得たチームの各大会の出場辞退は認めない。
但し、上記①及び②の権利を得たチームが、各近畿ブロック大会の参加資格を満たさない場合には、和歌山県スポーツ少年団軟式野球大会特別規則（出場チーム確認事項 注：により選考する）に準じる。

※全国大会近畿ブロック代表決定戦には、主幹府県及び次年度主幹府県から2チーム出場できる。
主幹府県及び次年度主幹府県に該当した場合は、優勝チーム及び2位チームが全国大会近畿ブロック代表決定戦に出場し、3位・4位チームが近畿ブロック交流大会に出場する。